

## 会 議 録

会議の名称	第2回行田市社会教育委員会議
開催日時	平成19年10月12日(金) 開会;午前10時・閉会;午前11時20分
開催場所	教育委員会 2A会議室
出席者(委員)氏名	渡辺 宏・田口 英樹・荻原 五郎・中村 猛 香川 宏行・佐々木 賢也・福島 正一・大澤 由子 大澤 隆一・内田 尚男・川邊 秀夫・町田 祥子 大平 敏江
欠席者(委員)氏名	岩崎 彰・大野 義明
事務局	原口生涯学習部長、塚田博物館副館長、小巻、上野
会議内容	1 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第59回行田市文化祭について</li> <li>・ 第21回行田市生涯学習市民大会について</li> <li>・ 平成20年新成人を祝う会について</li> <li>・ その他</li> </ul>
会議資料	1 第59回行田市文化祭チラシ 2 第21回行田市生涯学習市民大会開催要領(案)及び講演者資料 3 平成20年行田市新成人を祝う会資料 4 郷土博物館会館20周年記念第21回企画展「忍城主成田氏」チラシ 5 平成19年度埼玉県少年の主張大会結果報告資料
その他必要事項	

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	市民憲章唱和
	<b>1 開 会</b>
事務局	<b>2 あいさつ</b> 渡辺議長
	原口生涯学習部長
委員	<b>3 議 事</b>
事務局	<b>（１）第５９回行田市文化祭について</b>
	平成１９年１１月２日（金）から開催となる。チラシにより説明。
委員	・菊花展は、栽培している方に高齢者が多くなってきている。出展数が減るようなことはないか。地域公民館等においては、出展者が高齢のため作品を運ぶことができず、盆栽展が中止となってしまった例がある。
事務局	・出展数等については、例年通りである旨回答。
	<b>（２）第２１回行田市生涯学習市民大会について</b>
	平成２０年２月１７日（日）に産業文化会館ホールにおいて開催予定。
	体験発表２団体については現在募集中である。
	記念講演について、講師の選定を資料の４名の中からお願いしたい。
	< 講師（案） >
	・ 大槻 義彦（早稲田大学名誉教授）
	・ 大宅 映子（評論家）
	・ 高見ノッポ（NHK教育番組「できるかな」のノッポさん）
	・ 松野 明美（元オリンピックランナー）
委員	・当日、産文ホールを使用するというのであれば、集客力や興味を引く講演内容、出演料等から判断して「大槻義彦教授」に依頼してはどうか。
	・第２１回行田市生涯学習市民大会開催要領（案）・・・出席委員全員一致で了承。
	・講師については「大槻義彦氏」に依頼・・・出席委員全員一致で可決。
	・多くの市民が会場に足を運んでくれるよう、チラシの内容も工夫していただきたい。
事務局	・了解いたしました。
	<b>（３）平成２０年新成人を祝う会について</b>
	平成２０年１月１３日（日）に産業文化会館ホールにおいて開催予定。
	新成人から実行委員を募り、実行委員会により企画運営を行う旨を説明。
委員	・実行委員会形式で、平成１９年の成人式も何の問題も発生せず、落ち着いた成人式でした。過去、多いときは２，０００人以上の参加者で会場に入れず、外にあふれてしまった事もある。
	また、来賓席の確保は少なくてもよいと思う。後から遅れて来た新成人が来賓席の指定場所が多すぎると、着席する場所に困ってしまう。

事務局	<p>ここ数年、対象者が1,000人前後で参加者が800人程度と、産文ホールの収容人数的にちょうど良くなってきている。</p> <p>今後も新成人自らが実行委員となり積極的な参加・運営に取り組んでいただきたい。</p> <p><b>(4)その他</b></p> <p><b>行田市郷土博物館会館20周年記念第21回企画展について</b></p> <p>10月13日(土)～11月25日(日)まで開催される。資料69点が展示される。</p> <p>チラシにより塚田郷土博物館副館長が詳細を説明。</p> <p><b>埼玉県主催「平成19年度少年の主張大会」について</b></p> <p>9月8日(土)、さいたま市県民健康センターにおいて開催された。</p> <p>行田市立埼玉中学校3年 大野萌子さんが優秀賞を受賞したことを報告。</p> <p><b>郷土かるた行田大会について</b></p> <p>11月23日(金)勤労感謝の日 行田市総合体育館グリーンアリーナにて開催予定。</p> <p>また、平成19年度の県大会が、平成20年3月9日(日)に行田市を会場として実施され、約600人の選手が出場し、関係者を含めて1,500人以上が会場である行田市総合体育館グリーンアリーナに集結する。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かるた大会は県内で統一した「21世紀郷土かるた」を使って実施しているが、行田市独自に作成した「行田郷土かるた」について、もったいない気がする。合併が終わり、旧南河原村の史跡等も含めて、新たな郷土かるたを検討してみたいかがなものか。</li> <li>・15年以上かるた大会に携わっているが、過去においては行田市の大会は「行田郷土かるた」、県の大会は「21世紀郷土かるた」で実施していたが、子ども会や学校から、すべてのかるたを覚えるのが大変なため、県の「21世紀郷土かるた」に統一してはどうかということで、現在に至っている。</li> <li>・郷土を知るための方策として、かるただけでなく、数え歌などで郷土を織り込んだものを作ってはいかがなものか。</li> </ul>
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが、かるたや数え歌で郷土を学ぶことはとても大切であると感じている。こうしたことを踏まえて、今後の検討課題としてまいりたい。</li> <li>・平成20年1月22日(火)杉戸町(カルスタ杉戸)において、県東部社会教育委員大会が開催されますので、皆様の参加をお願いしたい。</li> <li>・委員全員了承する。</li> </ul> <p><b>4 閉 会 田口副議長</b></p> <p style="text-align: right;">以 上</p>